

報 道 資 料

平成29年1月31日（火）

「E-2Dの岩国飛行場における配備前訓練」に対する要請の結果について

このことについて、本日（31日）、下記のとおり要請を行いましたので、その概要をお知らせします。

記

1 日 時

平成29年1月31日（火）午後2時30分～午後2時45分

2 場 所

中国四国防衛局（広島市中区上八丁堀6番30号）

3 対 応 者

中国四国防衛局企画部長 みやかわ ひとし
宮川 均

4 要 請 者

山口県：総務部理事 やしき けんじ
矢敷 健治
岩国市：基地政策担当部長 たかた あきひこ
高田 昭彦

5 要請内容及び回答の概要（要請内容は別添のとおり）

（要請内容）

○ 配備前訓練の実施にあたり、日米合同委員会合意や岩国日米協議会における確認事項の遵守など、騒音対策や安全対策について万全を期すこと。

○ 今回の訓練が、なし崩し的に延長されることがないように、訓練の終了後は、速やかに岩国基地から離れること。

（国の回答）

E-2Dの配備前訓練の実施にあたり、これまでと同様に、米側に対し、岩国日米協議会における確認事項を尊重するなど、騒音面や安全面に最大限配慮しつつ、地域住民に与える影響を最小限にとどめるとともに、当該訓練が米側の計画どおりに実施されるよう、米側に働きかけてまいる。

6 その他

外務大臣あての要請書は、本日郵送した。

「E-2Dの岩国飛行場における配備前訓練」に対する要請書

米海軍早期警戒機「E-2D」の岩国飛行場における配備前訓練については、1月20日、空母艦載機の岩国飛行場への移駐に係る全体計画に併せて国から説明を受けました。

国の説明によると、現在、空母艦載機の移駐について容認していない中で、E-2D 5機は、2月初旬に岩国飛行場に飛来し、2、3ヶ月程度の配備前訓練を行う。この訓練は、支援する施設が岩国飛行場にしか存在しないことから、同飛行場で一定期間の空域慣熟訓練等を行うものであり、訓練実施後、一旦岩国を離れるという内容でした。

地元自治体としては、今回の配備前訓練は米軍の運用の一環であり、あくまでも一時的なものであると認識していますが、地元においては、先行移駐ではないかと懸念する意見もあります。

については、配備前訓練の実施にあたり、下記の事項について、国から米側に求めることを強く要請します。

記

- 1 配備前訓練の実施にあたり、日米合同委員会合意や岩国日米協議会における確認事項の遵守など、騒音対策や安全対策について、万全を期すること。
- 2 今回の訓練が、なし崩し的に延長されることがないように、訓練の終了後は、速やかに岩国基地から離れること。

平成29年1月31日

外務大臣 岸田文雄 様

防衛大臣 稲田朋美 様

山口県知事 村岡嗣政

岩国市長 福田良彦